

「JR山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通計画（中間案）」に係る  
パブリックコメントの要旨

- 意見募集期間：令和3年12月21日（火）～令和4年1月10日（月）
- 意見提出者数：6名・18件
- パブリックコメントの要旨及びこれに対する考え方：下記のとおり

項目	意見の要旨	対応状況 (考え方)
山陰本線	①-1 特急「あさしお」、急行「丹後」から特急「きのさき」「はしだて」「まいづる」に転換された際に停車していた和知駅及び胡麻駅への停車を朝夕通勤通学時間帯だけでも要望することで、指定席特急券が必要になりますが、通勤通学の本数を確保できないでしょうか。	沿線全体の公共交通の乗り継ぎ改善や待合環境の整備等に取り組むことについて、P48 基本方針②-3「公共交通間の乗継や利用環境の改善」、P53 基本方針④-1「子どもと一緒に安心して利用できる拠点の整備」、P54 基本方針④-2「快適に待つことができる駅の整備」に記載しております。 列車本数や停車駅の追加には、現在の利用状況の改善が必要であり、鉄道を利用しやすくするこれらの取組を進め、JR山陰本線の利用者増につなげてまいります。
山陰本線	①-2 JR和知駅の利用に際し、以前のように特急の停車があれば、通勤利用者も増えると思います。	
山陰本線	①-3 JR山陰本線が減便されたことで通学するのに以前よりも時間（待ち時間が多いため）がかかるようになってきました。特急も止まらなくなり不便です。	
山陰本線	①-4 京都からの最終電車の時刻が以前より早くなっているので、以前の時間に戻してほしいです。	
山陰本線	② まずは交通の要であるJRのサービスレベルの向上がなければ、いくら沿線のバスやタクシーがサービス向上の努力をしてもあまり効果的ではないです（絶対的な波及効果が生まれることはありません）。この計画には、兎にも角にもJRのサービスレベルの向上が必要不可欠です。	JR山陰本線のサービスレベル向上については、P49 基本方針③-1「広域的な通勤・通学の帰宅に利用できる移動手段の導入」に記載しております。 本計画では、鉄道駅を中心とした沿線全体の公共交通サービスの改善を進め、JR山陰本線のサービスレベルの向上につなげていくこととしております。
山陰本線	③-1 下山駅以北でもICカードが利用できるようにしてほしいです。	ICカードシステムの拡充について、P47 基本方針②-2「交通系ICカードシステムの拡充」に記載しております。 引き続き、交通系ICカードシステムの拡充に取組み、公共交通サービスの改善を進めてまいります。
山陰本線	③-2 JR和知駅でのICOCA等の利用ができるように。	
山陰本線	③-3 下山、和知とICカードがないのはとても不便です。ICカードは紛失しても再発行できますが、紙での現在の定期は紛失したら再発行できないので、ICカードが利用できる駅になったらいいなと思っています。	

項目	意見の要旨	対応状況 (考え方)
地域内交通	④ 南丹市～京丹波町間のバスの接続。和知駅へのアクセスがよりスムーズになると助かります。 (和知診療所の利用等しやすくなる)	路線バスのダイヤの見直しについて、P48 基本方針②-3「公共交通間の乗継や利用環境の改善」に記載しております。 今後も計画区域内の路線バスのダイヤの見直しを継続し、鉄道、バスの乗継改善等によって、地域のご利用ニーズに応じた公共交通の整備を進めてまいります。
地域内交通	⑤ 駅へ迎えに行ったりするとき不思議に思うことがあります。電車が駅に着く前に駅に並んでいたバスが出発してしまうのです。これはなぜでしょう。私どもも仕事をしており、迎えに行けない時はバス利用させたいのですが、降りてもバスがない時もあります。なので、JRとバスをきちんと調整し、降りた人が利用できるようなバスのダイヤにしてほしいです！	鉄道とバスの接続については、P48 基本方針②-3「公共交通間の乗継や利用環境の改善」に記載しております。 今後、公共交通間の乗り継ぎの改善や区域内をシームレスに移動できる仕組みづくりを進め、鉄道を中心とする沿線全体の公共交通サービスの向上に取り組んでまいります。
地域内交通	⑥ 高齢の方によく聞くのは、バス停が遠くてそこまで行かれない、ということです。こまわりのきく小さなもので、手を上げたら止まって乗せてもらえるくらいのバスにしてくれたら、もっと利用してもらえるのではないかと。	交通空白地での新たな移動手段の導入について、P51 基本方針③-3「公共交通の空白地や不便な地域での新たな移動手段の導入や支援及び高齢者が積極的に外出したくなる機会の創出」に記載しております。 協議会では、交通空白地に住む高齢者等の気軽かつ安全な外出を支援するため、デマンド交通等の新たな移動手段について、地域の理解を深めながら導入を進めてまいります。
地域内交通	⑦ 高齢者が病院など（和知HP等）行っても午前のバスがなくて、帰りは午後になるから、1日仕事になるといいます。市内はバスが無料とかにシルバーはなっていますが、無料じゃなくてもいいのもっと高齢の方が気軽に不便なく使えるようにしてほしい。	高齢者の買い物や通院に便利なダイヤ設定や免許返納後の支援制度について、P50 基本方針③-2「高齢者の買い物や通院等に便利なダイヤの設定」、P61 基本方針⑥-2「子育て世代や免許返納者に対する公共交通利用支援」に記載しております。 今後も高齢者の買い物や通院に便利なダイヤの見直しや、現行の支援制度の継続、拡充等を進め、気軽に外出できる地域づくりに取り組んでまいります。

項目	意見の要旨	対応状況 (考え方)
地域内交通	<p>⑧ 勉強するのに役場のカフェを使用したくても、園部からバスに乗ると600円かかる。日吉、胡麻からバス(京丹波町の)出ているが、これも少なく、せつかくあるのに学生が利用しにくい。 将来のある子供たちが楽しく安心して通学できるようなシステムを考えてほしい。 Wi-Fiよりもそっちの方が優先。 スマホ見て挨拶できないより、駅にいる高齢の方や住民の方とふれあえる方がよっぽど大事。</p>	<p>通学時の移動手段の導入や区域内をシームレスに移動できる仕組みづくりについて、P46 基本方針②-1「区域内をシームレスに移動できる仕組みづくり」、P49 基本方針③-1「広域的な通勤・通学の帰宅に利用できる移動手段の導入」、P63 基本方針⑥-3「高校生等が休日に広域的に周遊できる交通手段や運賃施策の導入」に記載しております。 今後、これらの取組により区域内で活発に活動できる地域を実現し、地域の賑わいや世代間の交流の活性化に寄与してまいります。</p>
地域内交通	<p>⑨ もっとお年寄りの方や若者が集える場所「道の駅」やこだちカフェ等にスムーズに誰でも行けてモーニングができたり、勉強できたり、イベントができたりするのがいい。 住んでいる人が心地よい場所＝お客様(観光客)も寄ってくれる所になれると思う。</p>	<p>通院や買い物移動の利便性向上や快適な待合環境の整備について、P50 基本方針③-2「高齢者の買い物や通院等に便利なダイヤの設定」、P54 基本方針④-2「快適に待つことができる駅の整備」に記載しています。 今後もこれらの取組を継続し、誰もが気軽に外出できる、地域づくりと連携した公共交通サービスの整備を進めてまいります。</p>
その他	<p>⑩ 高校生の通学にあたっては、駅や学校まで各家庭が送迎されているケースが多いと思います。 そのため、公共交通による駅や学校への通学が選択肢になるように親世代、子世代へ地域公共交通の周知を行える仕組みを作られてはどうでしょうか。 登校時のみ利用、又は下校時のみ利用という使い方でも、各家庭の負担を軽減したり、公共交通の利用者数が改善されるのでは。25ページに記載されている学生・受験生等への公共交通利用に向けた働きかけを、拡充されてはと考えます。</p>	<p>学生のみではなく、その保護者に向けたモビリティ・マネジメントにも取組むことについて、P42 基本方針①-1「公共交通利用への自発的な転換・定着の促進」に記載しております。 今後、通学時の手段として公共交通の利用が選択肢のひとつとなるよう、学生のみではなく、進路相談会等の機会を活用して保護者に向けたモビリティ・マネジメントにも取組んでまいります。</p>
その他	<p>⑪ このままのバスではいくら利用者数などを調べても増えない。もっと基本のどこからどうしていくのかがいいかを声を聞いてプランニングして行ってほしい</p>	<p>地域の方々との懇談会の実施について、P44 基本方針①-2「地元住民や関係者との懇談会の実施」に記載しております。 今後もこのような懇談会等を継続的に実施する中で施策を推進してまいります。</p>

項目	意見の要旨	対応状況 (考え方)
その他	<p>⑫ 概要版の1の目的において、交通の要となるのは山陰本線（園部綾部間）とされていますが、計画本文では、運行本数は、亀岡駅～園部駅間の駅と比べても半数以下、胡麻駅以北ではさらに減少する、交通系ICカードの利用は胡麻駅以南と綾部駅に留まっていると書かれています。</p> <p>この内容や沿線地域の状況を踏まえるならば、「園部駅～綾部駅間の鉄道のサービスレベルは高くない」ではなく「JR園部駅～綾部駅間のサービスレベルは低い」に改めるべきだと思います。</p>	<p>サービスレベルは利用者数にも関連することから、「現状では高くできない」に改めました。</p> <p>(P6「公共交通の現況」、P8「参考：各公共交通の利用の推移と沿線人口の推移」、P9～10「公共交通全般における問題点」参照)</p> <p>園部駅～綾部駅間については、園部駅以南と比べて利用者数及び列車本数も少ないことから「サービスレベルは高くない」と記載しておりましたが、サービスレベルは利用者数にも関連することから、他区間との比較で高い低いと記載することは適切ではないと考えます。</p>
その他	<p>⑬ 綾部市エリアには、京都交通バス福知山綾部線や、福知山市三和バス川合大原線も走っているのですが、これらの区間延長等も検討できるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご提案のバス路線の延長は、計画区域外のため本計画で実施することは困難ですが、ご提案の内容について、綾部市、福知山市にお伝えします。</p>